

都城島津邸から主な観光地まで

霧島連山と鰐塚山系に囲まれた水と緑豊かな都城盆地には、歴史と自然がいっぱい。ゆったりと、そしてじっくりと巡ってみてはいかがでしょうか。

高千穂牧場



乗馬や施設見学、乳しぼり体験など大自然の中で楽しく遊べるふれあい牧場です。

車で約50分

関之尾滝



「日本の滝100選」に選ばれた滝で、世界一の規模を誇る断崖群があります。

車で約25分

母智丘公園



「日本のさくら名所100選」に選ばれている桜並木です。

車で約20分

山之内麓文弥節人形浄瑠璃資料館



国指定の重要無形民俗文化財である「山之内麓文弥節人形浄瑠璃」の資料館です。

車で約30分

金御岳公園



盆地特有の朝霧が創り出す雲海と、そこに浮かぶ霧島連山の光景はとても幻想的です。

車で約25分

早水公園



仁徳天皇の妃となった髪長媛の伝説が残る公園。5月にはアヤマメ約42万本が美しく咲きそります。

車で約15分

都城歴史資料館



貴重な古文書や美術品、発掘調査で見つかった重要な出土品、民俗芸能関連の資料などを展示しています

車で約8分

霧島ファクトリーガーデン



芋焼酎「霧島」「黒霧島」で有名な霧島酒造の見学可能な工場や文化・レストラン・ふれあい施設があるガーデンパークです。

車で約15分

都城島津邸

アクセスマップ



交通アクセス

お車で

- 西都城駅から車で約7分
- 都城駅から車で約10分
- 都城1Cから車で約25分
- 都城北（高速バス停）から車で約25分
- 末吉財部1Cから車で約20分

バスで

[宮崎交通]

- 西都城駅前 乗車 → 藤元早鈴病院前 下車、徒歩1分
- 都城駅前 乗車 → 早鈴公民館入口 下車、徒歩1分
都城島津邸 下車、徒歩1分

高速バスで最寄施設まで

[宮崎交通]

- 宮崎空港前 乗車 → 西都城駅前 下車 (約60分)
- 福岡(博多) 乗車(宮崎行フェニックス号) → 都城北 下車 (約3時間25分)

JR(バス)で最寄施設まで

[新幹線さくら]

- 福岡(博多) → 新八代 (約55分)
 - (乗換) (JR九州高速バスB&Sみやざき) → 都城北 (約1時間25分) (約15分)
 - (乗換) (鹿児島交通観光バス新幹線リレーバス) → 都城北 → 都城市内

[新幹線さくら]

- 福岡(博多) → 鹿児島中央 (乗換) (JR日豊本線 特急きりしま) → 西都城 (約1時間40分) (約1時間20分)

【ご利用案内】

- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日) 年末年始 但し都城島津伝承館は展示替等のため公開できない日があります。
- 駐車場 一般用45台、大型用5台、障がい者用3台
- ボランティアガイド予約申込 (予約受付専用) TEL 0986-36-4197 FAX 0986-36-4198

【観覧料】 ※[]内は20人以上の団体

- 本宅 小学生以上 100円 [100円]
- 都城島津伝承館 一般 210円 [160円] 高校生・大学生 160円 [100円] 小学生・中学生 100円 [50円]
- ※特別展開催期間は別料金となります



〒885-0055 宮崎県都城市早鈴町18街区5号
TEL.0986-23-2116 FAX.0986-36-4019

新 都城

島津発祥の地

みやこのじょう

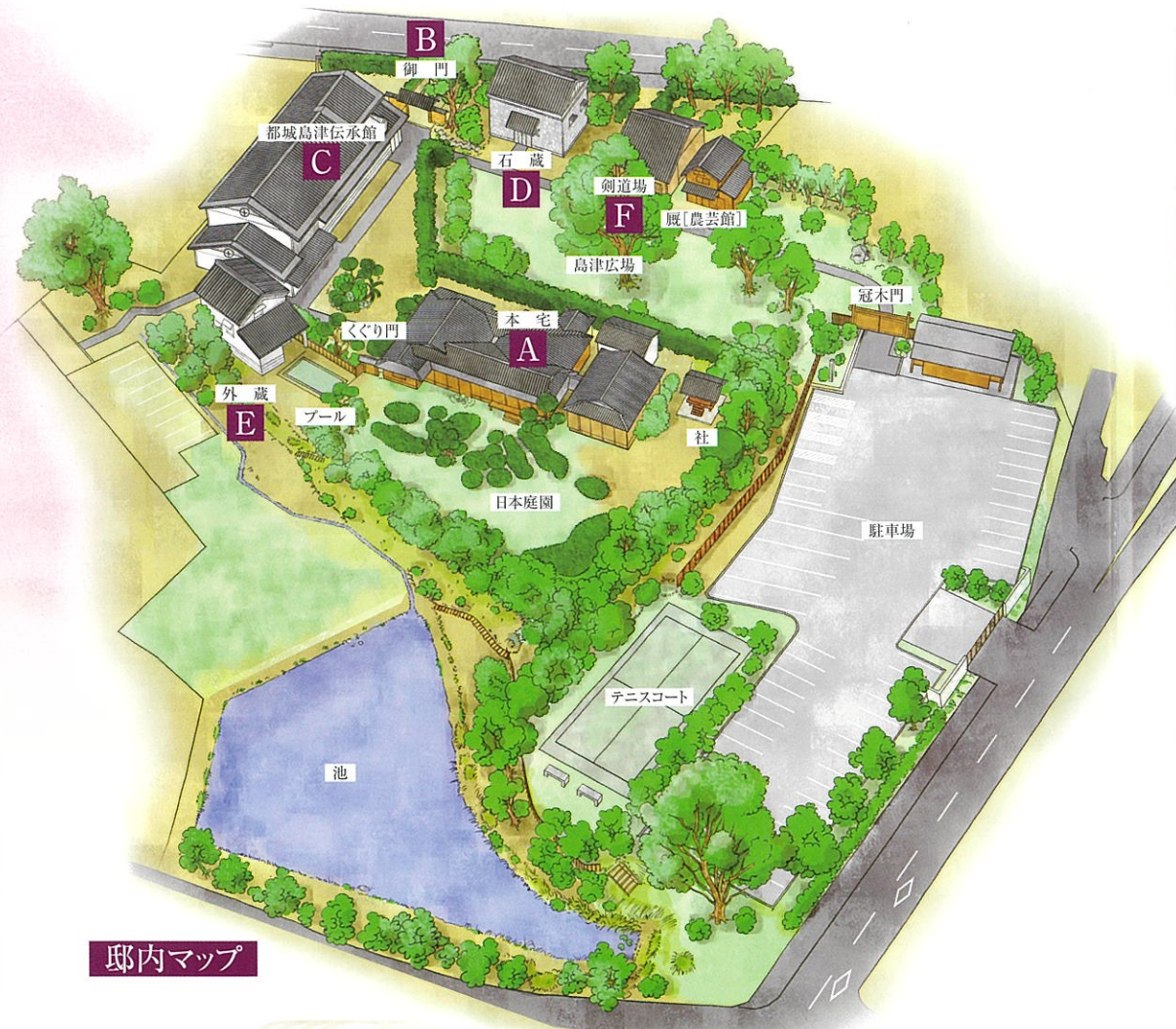


都城島津邸
Miyakonojo Shimazu Residence

http://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/shimazu

その後、鹿児島島の出水に拠点を移した島津氏でしたが、時を経て、分家として誕生した「北郷家」が都城の地でその歴史を開花させました。
 最盛期には都城盆地から志布志までを治める広がりをもった北郷氏。江戸時代に入ると本家の命により再び「島津」に名字を改め、「都城島津家」として幕末までこの地にさまざまな功績を残してきました。
 これらの歴史とともに大切に保存、継承されてきた都城島津家史料の魅力を、ここ都城島津邸でご体感ください。

650年の歴史を語る都城島津家史料。
 国の登録有形文化財である既存建築物。
 四季折々の表情を見せる庭園。
歴史観光施設 都城島津邸 へようこそ!



その昔、都城の地には「島津荘」と呼ばれる日本でも最大級の荘園が置かれていました。
 鎌倉時代、源頼朝の命により、この地の地頭(荘園の管理人)に就いたのが惟宗忠久、のちの島津忠久という人物です。
 彼は、この荘園の名から「島津」を名乗るようになり、戦国時代から幕末維新までの歴史に名を知らしめた島津家の始祖となりました。島津荘の中心地であった都城が「島津発祥の地」と呼ばれる由縁は、ここにあります。



本宅 (国登録有形文化財)
 明治12年建設の旧邸を、昭和10年11月の陸軍大演習にあわせ改築したものです。昭和47年には、翌年宮崎県小林市で行われる全国植樹祭にお越しになる昭和天皇のご宿泊に備え大改装しています。
 現在、男爵のくらしと天皇ご宿泊の様子を再現した展示を行っています。



石蔵 (国登録有形文化財)
 昭和5年築の米蔵で、後には、道路拡張により解体した農芸館の収蔵品(民具)を収納していました。
 現在、外観はそのままだ、室内は落ち着いた雰囲気の休憩室兼カフェとしてご利用いただけます。



御門 (国登録有形文化財)
 昭和10年の陸軍大演習時に新築されたものです。都城島津家の家紋入りの軒瓦を使っているのが特徴です。



外蔵 (国登録有形文化財)
 明治5年築の古土蔵を明治15年に120円で購入し、邸内に移築したものです。屏風や衝立、甲冑のほか古文書などが収蔵されていました。
 現在、都城島津家が史料を保存していたときの様子を再現した展示を行っています。



都城島津伝承館
 都城島津家から寄贈された約1万点の史料を収蔵、展示する施設(平成22年新築)です。
 館内にはエントランスホール、展示室、収蔵庫、史料調査室のほか、歴史文化の学習やイベント等に活用できる交流室を備えています。



剣道場 (国登録有形文化財)
 慶応3年築と伝えられ、明治12年に邸内に移築されたといわれています。
 床が低く、釘が上から打たれていないのが特徴で、後には炭などが保管されていました。

都城島津伝承館所蔵品

都城島津伝承館には、南北朝時代から都城の領主であった都城島津家に関する貴重な資料が収蔵、展示されています。※展示替え等により、観覧できない史料があります。



宮崎県指定文化財
 鉄鎧地南蛮胴具足/室町時代~江戸時代初期
 都城島津家第8代忠相が着用したと伝えられるものです。忠相は、都城盆地の統一を成し遂げた都城島津家隆盛の祖といわれる名將で、この甲冑は特に大切に伝えられてきました。



宮崎県指定文化財
 高麗虎狩図屏風/江戸時代
 豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に行われた虎狩の様子を描いたもの。作者と伝えられる永井慶竺は、都城島津家の家臣で、狩野派に学んだ人物です。



国重要文化財
 朝鮮国書
 現存する日本最古の朝鮮国王の国書。中国暦の弘治13年(1500)、朝鮮国王から琉球国王にあてた外交文書です。

都城島津邸 四季めぐり

冬 正月飾り	春 よるいを着て記念撮影	夏 お茶会	秋 菊花展
年間イベント	島津発祥まつり	五月人形展	郷中教育・自顕流

都城島津邸のおもてなし

石蔵カフェ・休憩室

ショップ

[都城歴史観光ガイドの会]
 スタッフ総勢約35名。ボランティアガイドが皆様をご案内します。
 ●申込:1週間前までに要予約 ●料金:無料
(ボランティアガイド申込)
 (予約受付専用) TEL 0986-36-4197 FAX 0986-36-4198
 (申込書ダウンロード)
http://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/shimazu/shimazu/e4_guide.htm